

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：平成 31 年 3 月 8 日

事業所名 GYM'sジュニア

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		定員以上にはならない	広いスペースの確保が出来ている。
	2	職員の配置数は適切である		○	3対1の支援が出来るようにしている。	スタッフの求人募集を行う。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		室内に段差はない。	2階の為、階段がある。 介助を行う。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している		○	職員間の連携を密に行っている。	振り返って継続して行くのか行わないのかを決めていない。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		今年度より開始。	アンケートから改善点を会議等で話し合いよりよく支援できる空間を作る。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		今年度よりホームページにて公開	今年度より保護者様・職員でアンケートを開始
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	今年度より実施。	皆様からのご意見等を会議で話し合い業務改善に努める。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		週1回の会議を行う	社内の勉強会や会議を行いどのように支援したらいいのか話し合い。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		面談を行っている。	保護者様と今後も密に連絡や面談を行いよりよい支援を行えるように努める。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		個々に終業後モニタリングを行っている。	モニタリングの結果に基づき業務後話し合いの場をつくる。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		毎月行っている。	毎日活動時間があるので話し合いの場を作 児童が楽しみながら支援できる方法を考える。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		毎月行っている。	食育・学習・工作等のカテゴリ別に毎回同じ活動にならないように話し合いを行う。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		行っている。	学校休業日等は施設にいる時間が長い為、課題や支援内容を決めている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		個別活動をしてから集団活動を毎日行っている。	児童の毎日の体調や状況により個別活動を行い集団活動を行う。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼を行っている。	職員全員でよりよい支援を行えるように協力をして業務を行う。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		毎日行っている。	支援終了後、本日あった出来事・課題点を出し今後の支援に繋げている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎日行っている。	支援記録を支援終了後に毎日行っている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		行っている。	毎日の様子のモニタリングを行い話し合いを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		行っている。	ガイドラインに沿った支援を考え行っている。 (地域交流、創作活動、余暇活動)

関係機関 や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		現場支援員が行っている。	今後も現場の支援員が参加し担当者会議等での情報を基に支援を考えていく。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		行っている。	学校と連携し児童の情報共有を行い支援を行う。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○	行っていない。	医療的ケアが必要な児童がいない。今後必要であれば検討をしていく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○	行っていない。	就学前の児童がいない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○	行っていない。	高等部3年の児童がいなかった。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		行っている。	研修開催等の情報を調べ積極的に参加している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		行っている。	公園や児童館等に出かけ、いろんな児童との関わりを持ってもらっている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		行っている。	研修開催等の情報を調べ積極的に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		行っている。	保護者様と今後も密に連絡や面談を行いよりよい支援を行えるように努める。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○	行っていない。	今後検討を行う。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に行っている。	今後も保護者様に周知して頂けるように説明をする。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		行っている。	保護者様からの相談を聞きその場で助言できることはし、他のスタッフと情報を共有し支援を行う。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	以前は行っていた。	今後検討する。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		行っている。	ご意見を頂いた際にはスタッフ全員が周知し対応を行う。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月行っている。	活動内容を保護者様に知っていただけるように資料を配布している。
	35	個人情報に十分注意している	○		行っている。	個人情報等は鍵着きの棚にて保管を行っている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		配慮している。	今後も児童に寄り添えような支援を行う。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	行っていない。	今後計画をしていきたい。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		周知している。	避難訓練などを行い、災害や緊急時に備えた対策を行っている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		行っている。	年に2回避難訓練を全体で行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		行っている。	虐待防止等の資料を各施設に置き、全スタッフが周知している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○	行っていない。	今後行う。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		行っている。	契約時にアレルギー等の同意書を頂く等の対応を行っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		行っている。	ヒヤリハット報告書等、スタッフに情報を周知できるようにまとめている。